

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年9月14日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

秋果実（柿・洋ナシなど）が徐々に増え、桃の売り場が縮小傾向にあるが全体量が少なく荷動き見られ相場は保合となっている。

単価（さくら白桃）：特秀 15玉 4200-3800円 16玉 4200-3500円 18玉 4200-3500円
青秀 15玉 3800-3300円 16玉 3800-3300円 18玉 3800-3300円

「なし」

栃木県産「豊水」中心の入荷となっているが全体量は落ち着いており不足感が見られるため休市以降は相場を強める見通し。

単価（豊水）：28玉 4500-4000円 32玉 4300-4000円 36玉 3800-3500円 40玉 3300-3000円
単価（あきづき）：28玉 4500円 32玉 4,500円 36玉 4,000円

【 野 菜 】

「きゅうり」

関東抑制増量も東北産露地物の激減から全体量不足し保合で推移した。今後、関東抑制作が本格出荷となり増量見込みから連休明けから相場を下げて売り場を広げる見通し。

単価：5kg A品 2,400-2,100円 B品 2,100-1,800円

「ミニトマト」

北海道・東北産の入荷量は減少ペースが早まる中、継続産地が花落ちにより増量が見込まれないため相場は保合となる見通し。

単価：200g パック AM 220-200円